

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 1 区分
【発行日】平成28年2月12日 (2016.2.12)

【公表番号】特表2015-506275(P2015-506275A)
【公表日】平成27年3月2日 (2015.3.2)
【年通号数】公開・登録公報2015-014
【出願番号】特願2014-556588(P2014-556588)
【国際特許分類】

B 0 5 B 15/12 (2006.01)

【F I】

B 0 5 B 15/12

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月15日 (2015.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スプレースのオーバースプレー収集装置であって、
長手方向軸に沿って長手方向に延在する第 1 の側壁及び第 2 の側壁と、
前記第 1 の側壁と前記第 2 の側壁との間に配置されて、前記長手方向軸に沿って長手方向に延在する排出ダクトと、

前記第 1 の側壁から下方に離れるように、前記排出ダクトの第 1 の側部に向かって延在する第 1 の傾斜床、及び前記第 2 の側壁から下方に離れるように、前記排出ダクトの第 2 の側部に向かって傾斜する第 2 の傾斜床と、を備え、

前記排出ダクトは、前記長手方向軸に沿って長手方向に、前記排出ダクトの前記第 1 の側部と前記第 2 の側部との間で延在するダクト床と、少なくとも部分的に前記床の上方で長手方向に延在する吸引フードとを有し、

前記吸引フードは第 1 の可動パネル及び第 2 の可動パネルを有し、前記第 1 の可動パネルは前記第 1 の傾斜床にヒンジ取付され、前記第 2 の可動パネルは前記第 2 の傾斜床にヒンジ取付され、前記第 1 の可動パネル及び前記第 2 の可動パネルは開位置と閉位置との間で可動であり、前記第 1 の可動パネル及び前記第 2 の可動パネルは、前記閉位置にあるときに前記吸引フードを形成し、

前記第 1 の可動パネルは、前記閉位置にあるとき、前記ヒンジの下方に延在し且つ前記第 1 の傾斜床の下部及び前記ダクト床から離間する下部を有し、前記第 1 の側部に沿って前記排出ダクトの第 1 の入口スロットが形成され、前記第 2 の可動パネルは、前記閉位置にあるとき、前記ヒンジの下方に延在し且つ前記第 2 の傾斜床の下部及び前記排出ダクト床から離間する下部を有し、前記第 2 の側部に沿って前記排出ダクトの第 2 の入口スロットが形成される、オーバースプレー収集装置。

【請求項 2】

前記第 1 の可動パネル及び前記第 2 の可動パネルは、前記開位置にあるとき、清掃のために前記排出ダクト床に対するアクセスを提供する、請求項 1 に記載のオーバースプレー収集装置。

【請求項 3】

前記第 1 の可動パネルは、前記第 1 の傾斜床にオフセットしてヒンジ取付され、前記第 1 の入口スロットを提供する、請求項 1 に記載のオーバースプレー収集装置。

【請求項 4】

前記開位置と前記閉位置との間で前記第 1 の可動パネルを動かすように動作可能なアクチュエーターを備える、請求項 1 に記載のオーバースプレー収集装置。

【請求項 5】

前記長手方向軸に対して横断方向に前記ダクト床を横切って延在するエアディフューザーを備え、前記エアディフューザーは、加圧空気を受け取るように構成され、加圧空気が通って前記排出ダクトに入る 1 つ又は複数の開口を有する、請求項 1 に記載のオーバースプレー収集装置。

【請求項 6】

エアディフューザーが、前記長手方向軸に沿って互いから均等に離間してある、請求項 1 に記載のオーバースプレー収集装置。

【請求項 7】

第 1 の側壁及び第 2 の側壁と、

前記第 1 の側壁と前記第 2 の側壁との間に配置されるとともに、長手方向軸に沿って延在する排出ダクトと、を備え

前記排出ダクトは、前記長手方向軸に沿って長手方向に、前記排出ダクトの第 1 の側部と前記排出ダクトの第 2 の側部との間で延在するダクト床と、少なくとも部分的に前記ダクト床の上方に延在する吸引フードとを有し、

前記長手方向軸に対して横断する方向に前記ダクト床の少なくとも一部を横切って延在するエアディフューザーであって、加圧空気を受け取るように構成され、加圧空気が通って前記排出ダクトに入る 1 つ又は複数の開口を有するエアディフューザー、を備える、スプレーブース。

【請求項 8】

第 1 の端壁と第 2 の端壁との間で長手方向に、前記第 1 の側壁及び前記第 2 の側壁とともに延在する床及び天井を備える、請求項 7 に記載のスプレーブース。

【請求項 9】

前記排出ダクトはダクト床を有し、前記床は、前記第 1 の側壁から下方に離れるように前記排出ダクトの前記第 1 の側部に向かって延在する第 1 の傾斜床と、前記第 2 の側壁から下方に離れるように前記排出ダクトの前記第 2 の側部に向かって傾斜する第 2 の傾斜床とを含む、請求項 8 に記載のスプレーブース。

【請求項 10】

前記第 1 の傾斜床及び前記第 2 の傾斜床と前記吸引フードとは、前記排出ダクトへの第 1 の入口スロット及び第 2 の入口スロットを提供する、請求項 9 に記載のスプレーブース。

【請求項 11】

スプレーブースのオーバースプレー収集装置であって、

排出チャンネルであって、長手方向軸に沿って長手方向に、前記排出チャンネルの第 1 の側部と第 2 の側部との間で延在するチャンネル床と、少なくとも部分的に前記チャンネル床の上方に長手方向に延在するフードとを有する、排出チャンネルと、

前記長手方向軸に対して横断方向に前記チャンネル床を少なくとも部分的に横切って延在するエアディフューザーであって、加圧空気を受け取るように構成され、加圧空気が通って前記排出ダクトに入る 1 つ又は複数の開口を有するエアディフューザーと、を備える、オーバースプレー収集装置。

【請求項 12】

前記エアディフューザーからの加圧空気がパルス駆動される、請求項 11 に記載のオーバースプレー収集装置。

【請求項 13】

スプレーブースのオーバースプレー収集装置であって、

排出ダクトであって、前記長手方向軸に沿って長手方向に、前記排出ダクトの第 1 の側部と第 2 の側部との間で延在するダクト床と、少なくとも部分的に前記ダクト床の上方に

長手方向に延在する吸引フードと、を有する排出ダクトを備え、

前記吸引フードは、第 1 の軸の回りに枢着される可動パネルを含み、

前記可動パネルに結合可能であると共に、前記可動パネルを第 1 の位置と第 2 の位置との間で動かすように動作可能であるアクチュエーターを備える、オーバースプレー収集装置。

【請求項 1 4】

前記アクチュエーターは、前記可動パネルに衝撃力を印加するように動作可能である、請求項 1 3 に記載のオーバースプレー収集装置。

【請求項 1 5】

前記アクチュエーターは、前記吸引フードを開閉するよう前記可動パネルを動かすように動作可能である、請求項 1 3 に記載のオーバースプレー収集装置。